

水位計 目的と概要

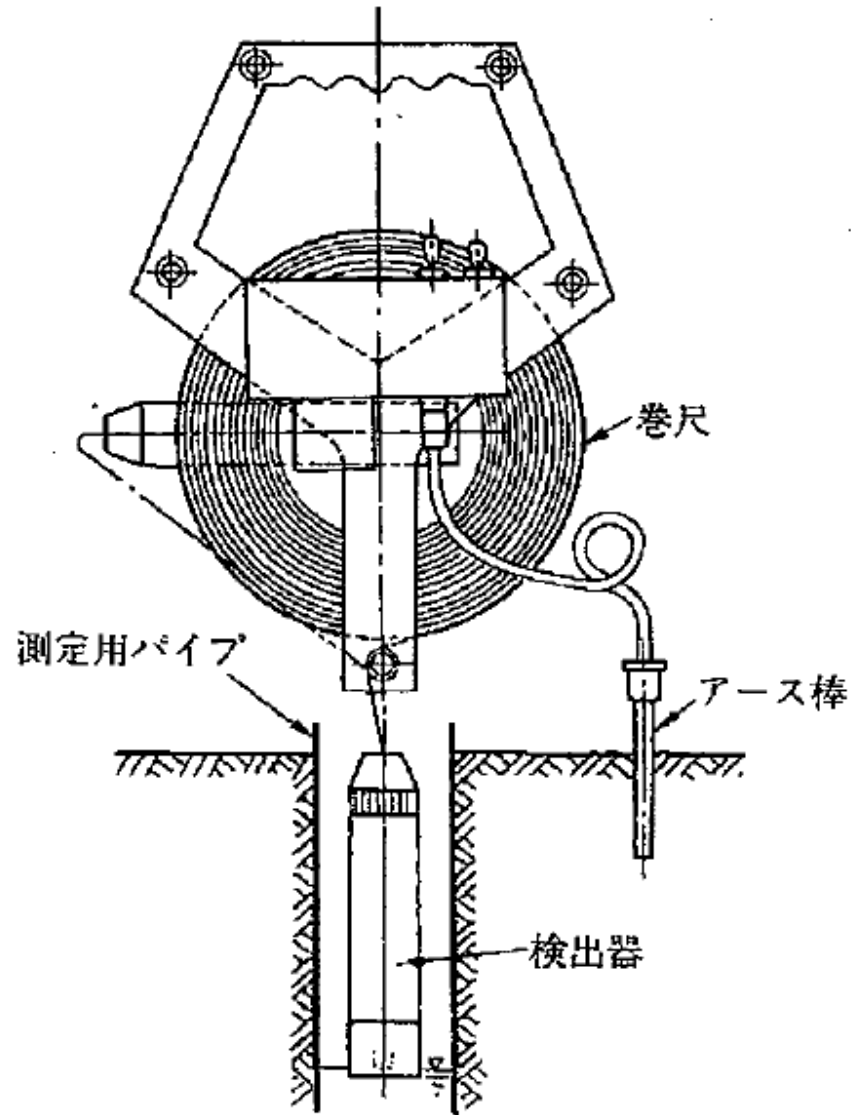
目的

- 地下水位の把握（構造物の設計の基礎資料、水頭把握）

概要

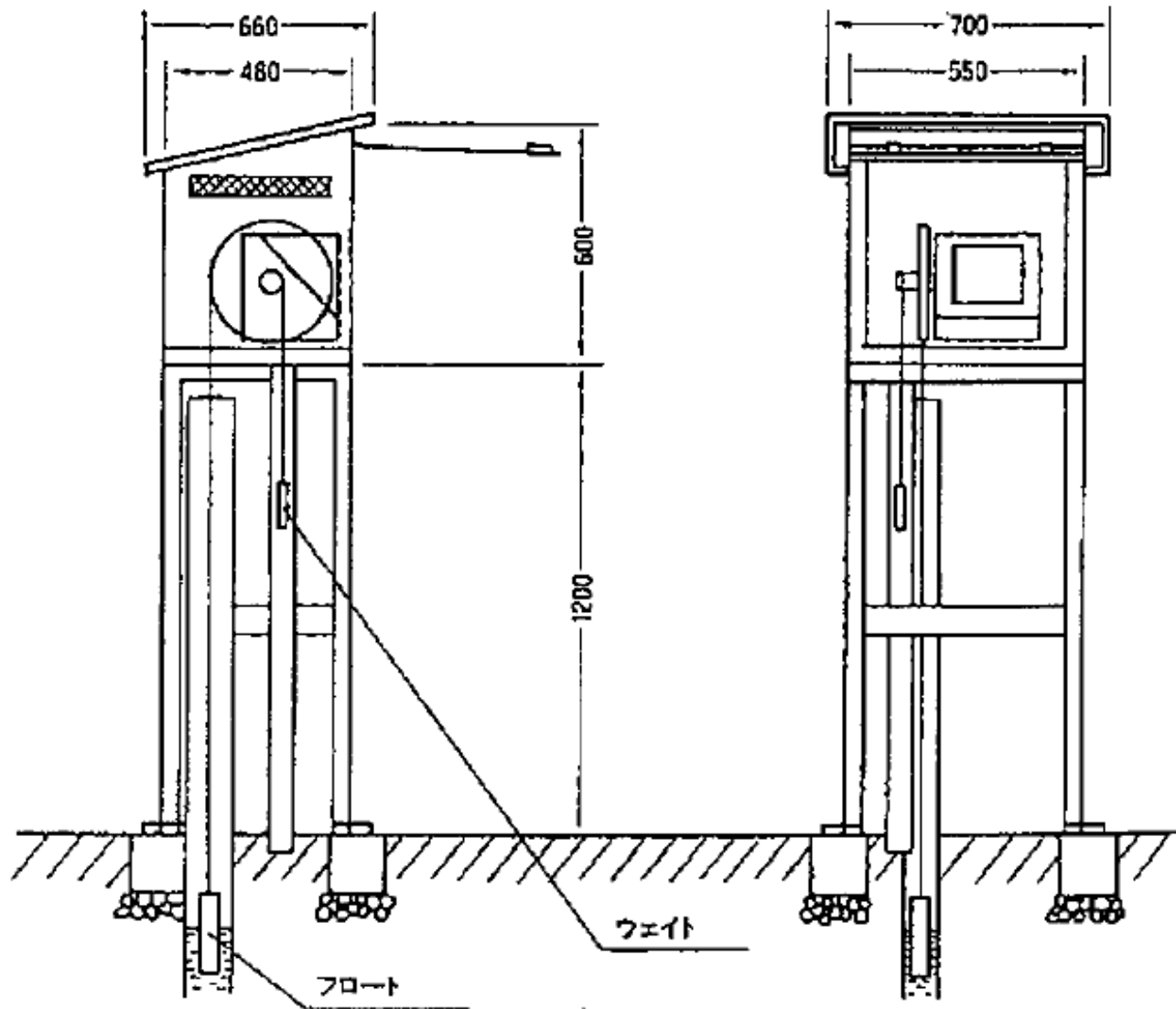
- 観測方法には手観測と自記式水位計あり
- 手観測：直接測定、触針式水位計
- 自記式水位計：フロート式、水圧式水位計

触診式水位計イメージ



『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』より引用

フロート式水位計イメージ



『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』より引用

水位計 留意事項

直接及び触針式水位計

- 事前に、電池残量、ブザーやメーターの作動状況、電極やアース端子などを確認

フロート式水位計

- フロートやワイヤーの孔壁への張り付きに注意
- 急激な水位変化によるワイヤーの絡みや記録装置の作動状況の確認必要(特に豪雨が予想される場合)
- 1ヶ月に1度は、保守点検、記録紙の交換を実施

水圧式水位計

- 観測間隔と記録容量を確認して、データ回収やバッテリー交換間隔を確認する
- 豪雨がなくても、1ヶ月に1度は巡視、データ回収を行う

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成